

窓

京都新聞 令和2年(2020年)7月1日(水)

児童と向き合う時間こそ

京田辺市・伊藤 優奈(大学生・20)

「9月入学」という言葉をよくニュースなどで耳にした。4月から新年度が始められなかった学校で、9月入学の検討を求める声が出ていた。来年から導入は見送られたが、文科省の提示した移行パターンに、入学者の生まれ月の幅を13カ月にし、5年間で完全移行するという案があった。

私は、この案にあまり賛成していない。12カ月でも4月生まれと3月生まれで

差別がついていない。勉強もまだまだ手につかず、集中することから身につけなければならぬ。その様子を見たらそのような新しいことをせずに、今の状況を改善するために、子どもと向き合うべきである。

私は今、小学校の学童のアルバイトに行っている

が、1年生はまだ学校の生活に慣れず、勉強と遊びの

※無断転載不可